

# 一般質問通告書

受領日時 令和2年11月30日 午前10時15分

5番 氏名 椎名 志保

質問項目	質問の要旨
1. 農地の担い手問題について	<p>(1)長年にわたり多くの農地の担い手であった農業者の離農により、新たな担い手がなかなか見つからず、農地の所有者はたいへん困惑している。担い手の高齢化は進み、今後こういった事態は起こりうる。この現実を町はどうとらえているか。</p> <p>5年先、10年先の町の農業はどうなるのか。</p> <p>(2)担い手の発掘、育成は急務だ。</p> <p>就農には農地のあり様が大きく関わってくる。基盤整備事業がなかなか進まない現状があるが、現在進められている基盤整備事業の進捗状況、今後予定されている地域、まだ行われていない地域の基盤整備事業に対する町の考え方は。</p>
2. 子育て世代包括支援センターの活用と子育て支援の充実について	<p>(1)12月から開設される子育て世代包括支援センターをどう活用し、当町の子育て支援を充実させるか。</p> <p>助産師の採用はあるか。</p> <p>(2)子どもの発達に関する相談窓口、支援体制が必要である。そのためには早めの気づき、早期の対処が大切だ。子育て世代包括支援センターが拠点となり、町保健師、こども園保育士、子育て支援センターこどもの木、小学校が連携し、進めるべきではないか。</p> <p>(3)病児保育のニーズが高まっている。</p> <p>周辺4町村が協力し合い、小児科が常設されている湖東厚生病院で実施されるよう働きかけるべきでないか。</p>
3. 時代をとらえた移住・定住対策を	<p>(1)「リモートワーク」「ワーケーション」が推進されている。移住者の受け入れに実績のある当町だからこそ、体制を整備し、積極的に呼び込むことを行うべきでないか。</p> <p>(2)平成30年10月から令和元年9月までの1年間に、住宅購入などを理由に16件の転出があったと聞いている。この現実をどうとらえているか。</p> <p>(3)井川町では、若い世代の町内への移住・定住を目的とした賃貸住宅を民間事業者と連携して整備し、入居する世帯の子どもの数に応じ、家賃補助を行うとしている。</p> <p>また、子どもを高校に通学させる保護者に対し、通学定期券の半額補助を始めた。井川町の本気度が感じられる施策と思うが、こういった他町の具体的な取り組みをどう思うか。</p>

<p>4. デジタル化社会 推進への対応につ いて</p>	<p>(1)自治体や行政のデジタル化が進み、役場に行かなくても各種手続きが出来るようになるものと思われる。 しかし、高齢化率の高い当町の住民からは取り残されるのではとの不安の声も聞かれている。対応はどういったものか。</p> <p>(2)家族が亡くなった時のいろいろな手続きの大変さが町民の負担となっている。能代市が開設した「ご遺族支援コーナー」といった事例を参考に、遺族の負担を軽減する取り組みはできないか。</p>
---------------------------------------	---